



2025年9月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年11月7日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社FOOD & LIFE COMPANIES
コード番号 3563 URL <https://www.food-and-life.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 雅啓
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 吉田 剛 (TEL) 06-6368-1001
定時株主総会開催予定日 2025年12月23日 配当支払開始予定日 2025年12月24日
有価証券報告書提出予定日 2025年12月22日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年9月期の連結業績(2024年10月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	429,574	19.0	36,093	54.4	33,777	56.0	24,609	59.3	22,937	56.7	25,638	73.9
2024年9月期	361,129	19.7	23,384	112.6	21,653	119.5	15,445	83.7	14,633	81.9	14,740	66.5

	調整後EBITDA		基本的1株当たり 当期利益		希薄化後 1株当たり 当期利益		親会社所有者 帰属持分 当期利益率		資産合計 税引前利益率		売上収益 営業利益率	
	百万円	%	円 銭		円 銭		%		%		%	
2025年9月期	52,079	38.9	202.71		199.97		26.9		8.8		8.4	
2024年9月期	37,485	45.7	127.46		126.32		20.1		6.0		6.5	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円		百万円		百万円		%		円 銭	
2025年9月期	398,596		100,902		97,869		24.0		845.61	
2024年9月期	365,154		77,837		76,568		20.5		661.48	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
2025年9月期	64,429		△25,436		△29,235		58,822	
2024年9月期	56,326		△24,066		△34,322		48,695	

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00	3,394	23.5	4.7
2025年9月期	—	0.00	—	35.00	35.00	3,964	17.3	4.6
2026年9月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00		—	

2024年9月期期末配当金の内訳 普通配当 27円50銭 記念配当 2円50銭

(注) 詳細は、添付資料6ページ「1. 経営成績等の概況(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当」をご覧ください。

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日~2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後EBITDA		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	485,000	12.9	59,500	14.2	40,500	12.2	24,000	4.6	211.91	

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
除外 1社 (社名) 大連京樽餐飲有限公司

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2025年9月期	116,069,184株	2024年9月期	116,069,184株
2025年9月期	2,814,631株	2024年9月期	2,945,764株
2025年9月期	113,152,113株	2024年9月期	114,808,427株

(4) 各種指標の算式

指標	算式
調整後EBITDA	営業利益＋減価償却費及び償却費(使用権資産の減価償却費を除く)＋減損損失

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況②次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結財政状態計算書	7
(2) 連結損益計算書	8
(3) 連結包括利益計算書	9
(4) 連結持分変動計算書	10
(5) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(販売費及び一般管理費)	15
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、賃上げ等に伴う個人消費の持ち直しや、インバウンド需要が増加したことにより、緩やかな経済活動の回復が見られました。一方で、世界的な政情不安や想定以上の円安の長期化に伴う物価上昇により、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、米をはじめとする原材料価格やエネルギー価格等の高騰に加え、慢性的な人手不足等により引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、「変えよう、毎日の美味しさを。広めよう、世界に喜びを。」をVISIONとして、日々の食を美味しくすることで、お客様の生活や人生までゆたかにしたいという願いに向けて、商品開発、店内調理、安心・安全の取り組み及びサービスの向上に取り組んで参りました。

また、業態別店舗数は以下のとおりです。

[当社グループ業態別店舗数]

業態名	前連結会計年度末	出店実績	閉店実績	当連結会計年度末
国内：スシローブランド (テイクアウト専門店)	655(9)	15	3(1)	667(8)
国内：杉玉ブランド(FC)	87(17)	13(1)	5(1)	95(17)
国内：京樽ブランド	117(－)	－	17	100(－)
国内：回転寿司みさき・ 三崎丸ブランド	95(－)	1	9	87(－)
国内：その他ブランド	18(－)	1	4	15(－)
国内合計	972(26)	30(1)	38(2)	964(25)
海外：スシローブランド (テイクアウト専門店)	174(－)	55	2	227(－)
海外：その他ブランド	9(－)	－	2	7(－)
海外合計	183(－)	55	4	234(－)
国内外合計	1,155(26)	85(1)	42(2)	1,198(25)

()内は内数でテイクアウト専門店・FCの店舗数

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上収益429,574百万円(前連結会計年度比19.0%増)、営業利益36,093百万円(前連結会計年度比54.4%増)、税引前利益33,777百万円(前連結会計年度比56.0%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益22,937百万円(前連結会計年度比56.7%増)となり、売上利益共に、連結会計年度として過去最高を更新いたしました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(国内スシロー事業)

当連結会計年度は、「すしに真つすぐ！」をテーマに掲げ、創業以来スシローがこだわり続けた美味しさにしっかりと向き合い、お客さまにご満足いただける商品の提供やキャンペーンの実施に一年を通じて取り組みました。7月中旬からの夏休み期間には、有名店すし職人3名のお墨付き「年に一度の格別まぐろ祭り」で、厳選大切りびん長まぐろ（税込110円〜）の販売や人気の赤シャリをご堪能いただけるキャンペーンを実施し大変ご好評いただきました。更に、世代を超えて愛されるサンリオのキャラクターユニット「はぴだんぶい」とのコラボや世界的人気グループBTSが開発に参加したパズルアドベンチャーゲーム「BTS Island:インザソム」とのコラボを実現。国内4店舗（東京、愛知、大阪）を『BTS Island:インザソム』の世界観を楽しめるスペシャルコラボ店舗として展開するなど、スシローでおすしをお楽しみいただくことはもちろん、おすしと一緒に楽しめるコンテンツの提供も継続して実施いたしました。

また、回転すしの醍醐味であるレーンを見ながら、新たなおすしに巡り合える楽しさ、選べる楽しさをデジタルで再現した「デジタル・スシロービジョン」、通称「デジロー」の導入も順調に進み、当連結会計年度末時点で国内123店舗への導入が完了いたしました。

以上の結果、国内スシロー事業の売上収益は265,903百万円（前連結会計年度比11.6%増）、セグメント利益は18,008百万円（前連結会計年度比26.7%増）となりました。

(海外スシロー事業)

海外スシロー事業では物件や立地の特性を厳選して出店するアプローチで事業の拡大を順調に進めています。東南アジアにおいて4つ目のマーケットとなるマレーシアでは、2月に1号店をオープンし、長らくスシローの出店を待っていたお客様からの感謝の手紙が届くなど1号店は大きな反響を呼びその後も好調を維持しています。一方、中国大陸の事業は、前期までの回復基調を超えて今期は拡大成長期に入り店舗数を順調に伸ばすとともに、業績も高水準を維持して推移しており、海外スシロー事業における力強いモメンタムが継続しています。また、更なる来店客数の維持・拡大にむけて、魅力的な販促・マーケティング施策を各地域で展開。シンガポールでは、7月「夏祭り」フェアで暑い夏を贅沢に彩る「すし屋のうな牛」を販売、台湾では、8月「夏末風味祭」フェアでサーモンファン必見の「サーモンマウンテン」を販売、香港では、ホロライブEnglish所属の人気VTuberニノマエ・イナニスとのコラボを展開するなど、スシローでのお食事を通したより高い体験価値の提供に努めました。

以上の結果、海外スシロー事業の売上収益は131,422百万円（前連結会計年度比42.6%増）、セグメント利益は16,324百万円（前連結会計年度比126.9%増）となりました。

(京樽事業)

京樽ブランドでは、引き続きEC販売の強化・不採算店舗の整理を推進し、更なる収益性改善に取り組みました。お値打ち価格で季節感のある商品をお楽しみいただけるキャンペーンを継続的に実施し、9月には敬老の日に合わせて、一口サイズの可愛らしいお鮭やのり巻など、京樽のすべてを一つに詰め込んだお祝弁当を3日間限定でご提供しました。

みさきブランドも、8月は毎日が嬉しい「ずっ得祭り」を開催。加えて、「真夏のすし祭り」と題し、「本まぐろ」と「のどぐろ」のキャンペーン中の総販売皿数が多いのはどちらかを予想するイベントも開催したことや、新店・一部改装店舗で周年特別販促としてまぐろ解体ショーや特別販促を実施し、お客様に大変ご好評いただきました。業績も好調に推移しており、旗艦店を基軸とした商品力・接客力の強化に引き続き取り組むことで、更なるブランド力の進化を図ってまいります。

以上の結果、京樽事業の売上収益は23,532百万円（前連結会計年度比1.9%減）、セグメント利益は60百万円（前連結会計年度セグメント損失350百万円）となりました。

(国内杉玉事業)

FOOD & LIFE COMPANIESの力を最大限に活かし、鮮度や味、見た目にこだわったお寿司や、居酒屋ならではの一品料理、そして食事と相性抜群のお酒の提供を実現している、大衆寿司居酒屋「鮪 酒 肴 杉玉」。直営店・フランチャイズの両輪で順調に店舗数を伸ばし、創業から8年目となる当連結会計年度末には、国内店舗数が100店舗に迫る95店舗に達しました。非日常を演出する和モダンな内装のこだわりの空間でのお食事を、更に楽しくする販促キャンペーンも継続的に実施し、「スギコレ2025 Summer」では、お客様にご愛顧いただいている杉玉の人気メニューを期間限定の特別価格で販売、また「杉玉の秋祭り」では、本鮪の中トロ入り、社長の太鼓判「まぐろのおはぎ」の販売など、お客様に「また来たい」と思っただけの店づくりに取り組みました。

以上の結果、国内杉玉事業の売上収益は8,284百万円（前連結会計年度比20.1%増）、セグメント利益は64百万円（前連結会計年度比51.1%減）となりました。

② 次期の見通し

売上収益につきましては485,000百万円（前連結会計年度比12.9%増）、調整後EBITDA59,500百万円（前連結会計年度比14.2%増）、営業利益につきましては40,500百万円（前連結会計年度比12.2%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては24,000百万円（前連結会計年度比4.6%増）を見込んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ33,441百万円増加し、398,596百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ13,740百万円増加し、88,396百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が10,127百万円増加したこと等によるものであります。

非流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ19,701百万円増加し、310,200百万円となりました。これは主に、有形固定資産が18,884百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ10,377百万円増加し、297,694百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4,013百万円増加し、84,857百万円となりました。これは主に、社債及び借入金が5,000百万円減少した一方で、営業債務及びその他の債務が6,522百万円増加、リース負債が2,161百万円増加したこと等によるものであります。

非流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ6,363百万円増加し、212,837百万円となりました。これは主に、リース負債が3,609百万円増加、社債及び借入金が1,005百万円増加したこと等によるものであります。

(資本)

資本合計は、前連結会計年度末に比べ23,064百万円増加し、100,902百万円となりました。これは主に、配当金の支払により3,394百万円減少した一方で、親会社の所有者に帰属する当期利益の計上により22,937百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ10,127百万円増加し、58,822百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、64,429百万円(前連結会計年度比14.4%増)となりました。

これは主に、税引前利益33,777百万円、減価償却費及び償却費35,776百万円、減損損失1,213百万円の計上及び営業債務及びその他の債務の増加が6,287百万円あった一方で、棚卸資産の増加が3,720百万円、法人所得税の支払額が8,257百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、25,436百万円(前連結会計年度比5.7%増)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が25,177百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、29,235百万円(前連結会計年度比14.8%減)となりました。

これは主に、社債の償還による支出が5,000百万円、社債の発行による収入が4,974百万円、リース負債の返済による支出が22,117百万円、長期借入金の返済による支出が4,009百万円あったこと等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期
親会社所有者帰属持分比率(%)	20.1	20.5	24.0
時価ベースの親会社所有者帰属持分比率(%)	82.7	89.2	219.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	523.0	385.1	339.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	29.7	28.1	24.7

(注) 親会社所有者帰属持分比率：親会社の所有者に帰属する持分／資産合計

時価ベースの親会社所有者帰属持分比率：株式時価総額／資産合計

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標はいずれもIFRSに基づく連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※ キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結財政状態計算書上に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いは連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけており、恒常的な業績向上と業績に応じた適正な利益配分を継続的に実施することを基本方針とし、配当については、安定的に実施することを基礎とし、業績及び内部留保の充実等を総合的に勘案しながら、業績に連動した年1回の剰余金配当を実施する方針です。

内部留保資金については、経営基盤の強化に向けた諸施策の実施のための積極的な投資等の原資として充当してまいります。

上記の基本方針を踏まえ、当連結会計年度における業況及び株主の皆様に対する還元のバランスを総合的に勘案した結果、当期の期末配当につきましては、1株当たり35.00円とさせていただきます。

次期の配当につきましては、添付資料4ページに記載の次期の見通しの達成を前提として、1株当たり年間35.00円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2016年9月期より国際会計基準(IFRS)を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	48,695	58,822
営業債権及びその他の債権	13,882	15,284
棚卸資産	6,512	10,242
その他の金融資産	2,940	690
その他の流動資産	2,627	3,357
流動資産合計	74,656	88,396
非流動資産		
有形固定資産	184,936	203,820
のれん	30,371	30,371
無形資産	57,016	57,002
持分法で会計処理されている投資	52	52
敷金及び保証金	14,766	15,795
その他の金融資産	1,232	801
繰延税金資産	1,552	1,664
その他の非流動資産	574	694
非流動資産合計	290,499	310,200
資産合計	365,154	398,596
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	35,569	42,091
社債及び借入金	9,009	4,009
未払法人所得税	4,710	4,926
リース負債	19,523	21,685
その他の金融負債	1,006	1,339
引当金	5,275	4,381
その他の流動負債	5,750	6,426
流動負債合計	80,843	84,857
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	22	22
社債及び借入金	75,514	76,519
リース負債	112,838	116,447
その他の金融負債	105	100
引当金	4,730	5,462
繰延税金負債	13,264	14,287
非流動負債合計	206,474	212,837
負債合計	287,317	297,694
資本		
資本金	100	100
資本剰余金	15,734	15,806
利益剰余金	65,818	85,355
自己株式	△9,156	△8,749
その他の資本の構成要素	4,073	5,357
親会社の所有者に帰属する持分合計	76,568	97,869
非支配持分	1,269	3,032
資本合計	77,837	100,902
負債及び資本合計	365,154	398,596

(2) 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
売上収益	361,129	429,574
売上原価	△155,796	△184,567
売上総利益	205,334	245,007
販売費及び一般管理費	△179,848	△208,629
その他の収益	1,084	1,192
その他の費用	△3,186	△1,478
営業利益	23,384	36,093
金融収益	461	407
金融費用	△2,191	△2,723
税引前利益	21,653	33,777
法人所得税費用	△6,209	△9,168
当期利益	15,445	24,609
当期利益の帰属		
親会社の所有者	14,633	22,937
非支配持分	811	1,672
当期利益	15,445	24,609
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	127.46	202.71
希薄化後1株当たり当期利益(円)	126.32	199.97

(3) 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
当期利益	15,445	24,609
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	△143	△307
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△143	△307
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	△561	1,336
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△561	1,336
税引後その他の包括利益	△704	1,029
当期包括利益	14,740	25,638
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	13,863	23,855
非支配持分	878	1,783
当期包括利益	14,740	25,638

(4) 連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2023年10月1日時点の残高	100	15,676	53,787	△1,840	4,544	72,268	391	72,659
当期利益			14,633			14,633	811	15,445
その他の包括利益					△771	△771	67	△704
当期包括利益合計	—	—	14,633	—	△771	13,863	878	14,740
自己株式の処分		△130		184	△40	14		14
自己株式の取得		△2		△7,500		△7,503		△7,503
新株予約権の失効		190			△190	—		—
株式に基づく報酬取引					529	529		529
配当金			△2,603			△2,603		△2,603
所有者との取引額合計	—	58	△2,603	△7,317	300	△9,562	—	△9,562
2024年9月30日時点の残高	100	15,734	65,818	△9,156	4,073	76,568	1,269	77,837
当期利益			22,937			22,937	1,672	24,609
その他の包括利益					918	918	111	1,029
当期包括利益合計	—	—	22,937	—	918	23,855	1,783	25,638
自己株式の処分		69		408	△131	345		345
自己株式の取得				△1		△1		△1
新株予約権の失効		21			△21	—		—
株式に基づく報酬取引					513	513		513
配当金			△3,394			△3,394		△3,394
利益剰余金への振替			△6		6	—		—
連結子会社株式の取得による持分の増減		△17				△17	△20	△37
所有者との取引額合計	—	72	△3,399	407	366	△2,554	△20	△2,574
2025年9月30日時点の残高	100	15,806	85,355	△8,749	5,357	97,869	3,032	100,902

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	21,653	33,777
減価償却費及び償却費	30,760	35,776
減損損失	2,192	1,213
金融収益	△461	△407
金融費用	2,191	2,723
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,040	△858
敷金及び保証金の家賃相殺額	540	264
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△2,535	△982
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,558	△3,720
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	4,459	6,287
その他	1,411	1,013
小計	59,691	75,086
利息及び配当金の受取額	139	213
利息の支払額	△2,008	△2,613
法人所得税の支払額	△2,580	△8,257
法人所得税の還付額	1,083	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,326	64,429
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,530	△25,177
有形固定資産の売却による収入	14	13
無形資産の取得による支出	△1,196	△1,161
定期預金の預入による支出	△3,207	△2,323
定期預金の払戻による収入	1,796	4,456
敷金及び保証金の差し入れによる支出	△1,642	△1,999
投資有価証券の取得による支出	△1,035	—
その他	734	754
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,066	△25,436
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△20,000	△5,000
社債の発行による収入	19,494	4,974
長期借入金の返済による支出	△4,009	△4,009
リース負債の返済による支出	△19,716	△22,117
支払手数料の支払による支出	△15	△15
自己株式の取得による支出	△7,504	△1
新株予約権の行使による収入	14	347
配当金の支払額	△2,599	△3,388
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△37
その他	12	12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,322	△29,235
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,062	9,759
現金及び現金同等物の期首残高	51,228	48,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△471	368
現金及び現金同等物の期末残高	48,695	58,822

(6) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、主に事業別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントに含まれる主要ブランドは以下のとおりであります。

国内スシロー事業：国内で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

海外スシロー事業：海外で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

京樽事業：株式会社京樽が運営する全ブランド(主要ブランド「京樽」・「回転寿司みさき」・「海鮮三崎港」)

国内杉玉事業：株式会社FOOD & LIFE INNOVATIONS が運営する全ブランド(主要ブランド「杉玉」)

その他事業：スシロー未来型万博店及び商品在庫の外部販売

当連結会計年度より、報告セグメントを従来の「国内スシロー事業」、「海外スシロー事業」、「京樽事業」及び「その他事業」の4区分から、「国内スシロー事業」、「海外スシロー事業」、「京樽事業」、「国内杉玉事業」及び「その他事業」の5区分に変更しております。この変更は、将来の重要性を考慮し、従来「その他事業」に含めていた「国内杉玉事業」を独立した報告セグメントとしたものです。なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(2) 報告セグメント売上収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は以下のとおりです。

前連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 合計 (注) 2	連結合計
	国内 スシロー 事業	海外 スシロー 事業	京樽事業	国内杉玉 事業	その他 事業			
売上収益								
外部収益	238,173	92,138	23,939	6,806	74	361,129	—	361,129
セグメント間収益	—	—	47	91	—	139	△139	—
計	238,173	92,138	23,986	6,897	74	361,268	△139	361,129
セグメント利益又は 損失(△は損失) (注) 1	14,217	7,194	△350	131	74	21,267	2,116	23,384
その他の項目								
減価償却費及び償 却費	16,401	11,010	1,738	728	—	29,876	885	30,760
減損損失	582	1,179	400	30	—	2,192	—	2,192

(注) 1. セグメント利益又は損失は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額2,116百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

当連結会計年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 合計 (注) 2	連結合計
	国内 スシロー 事業	海外 スシロー 事業	京樽事業	国内杉玉 事業	その他 事業			
売上収益								
外部収益	265,903	131,420	23,425	8,153	674	429,574	—	429,574
セグメント間収益	—	3	106	131	—	240	△240	—
計	265,903	131,422	23,532	8,284	674	429,814	△240	429,574
セグメント利益又は 損失(△は損失) (注) 1	18,008	16,324	60	64	△366	34,090	2,002	36,093
その他の項目								
減価償却費及び償 却費	17,840	14,202	1,706	907	10	34,665	1,111	35,776
減損損失	112	698	227	108	—	1,144	68	1,213

(注) 1. セグメント利益又は損失は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額2,002百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

(3) 製品及びサービス別に関する情報

当社グループは単一の製品及びサービスを販売しているため、製品及びサービス別の売上収益の記載を省略しております。

(4) 地域別に関する情報

売上収益及び非流動資産の地域別内訳は以下のとおりです。

前連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

①外部顧客への売上収益

(単位：百万円)

日本	海外	合計
268,992	92,138	361,129

②非流動資産（金融商品、繰延税金資産及び保険契約から生じる権利を除く）

(単位：百万円)

日本	海外	合計
233,853	53,810	287,663

当連結会計年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

①外部顧客への売上収益

(単位：百万円)

日本	海外	合計
298,154	131,420	429,574

②非流動資産（金融商品、繰延税金資産及び保険契約から生じる権利を除く）

(単位：百万円)

日本	海外	合計
241,022	66,660	307,682

(5) 主要な顧客に関する情報

当社グループの売上収益の10%以上を占める単一の外部顧客は存在しないため、記載を省略しております。

(販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
従業員給付費用	99,672	114,592
減価償却費及び償却費	30,686	35,693
水道光熱費	9,020	10,126
その他	40,471	48,219
合計	179,848	208,629

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
親会社の普通株主に帰属する 当期利益(百万円)	14,633	22,937
基本的1株当たり当期利益の計算 に使用する普通株式に係る当期利 益(百万円)	14,633	22,937
希薄化後1株当たり当期利益の計 算に使用する普通株式に係る当期 利益(百万円)	14,633	22,937
基本的期中平均普通株式数(株)	114,808,427	113,152,113
希薄化後1株当たり当期利益の計 算に用いられた普通株式増加数 (株)	1,032,418	1,549,806
希薄化後の期中平均普通株式数 (株)	115,840,845	114,701,919
基本的1株当たり当期利益(円)	127.46	202.71
希薄化後1株当たり当期利益(円)	126.32	199.97
希薄化効果を有しないため、希薄 化後1株当たり当期利益の算定に 含めなかった潜在株式の概要	新株予約権4種類 (普通株式293千株)	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。